

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 旭ポリスライダー		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 530-0005 大阪府大阪市北区中之島三丁目 3 番 3 号	
本票作成	部署名：環境管理責任者				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
事業の概要	プラスチック成型品の製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山久世工場		岡山県真庭市三崎 8 6 0 - 2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 25 年度 (1 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 10.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準					○		
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 24 年度)			目標年度 (平成 25 年度)					
	6,796 t CO ₂			6,116 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 24 年度) の排出量					
	①	岡山久世工場		6,796 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		9.784 t CO ₂ / (千万個)	8.806 t CO ₂ / (千万個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 24 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

平成24年度は大幅なCO₂排出量削減(省エネ)を実現した。主に、成型品製造のサイクルタイム短縮による効果である。平成25年度もこの方針を継続するが、平成24年度に省エネがかなり進んだため、平成24年度ほどの効果は期待できない。当面は、平成24年度の半分である5%削減に取り組む。

【目標削減率達成のための推進体制】

毎月、関係者が品質環境会議にてエネルギー消費、無理無駄の削減、生産効率の改善に取り組んでいる。経営陣も会議に参加し、積極的にCO2排出量（エネルギー）削減に取り組んでいる。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山久世工場	新規射出成型機を導入し、成型サイクル短縮、省エネに取り組んだ。成型サイクルの短縮は、単位時間当たりの生産数量を増大させるため、設備稼働時間短縮や稼働設備数の削減が可能となるなどの大きな省エネ効果が期待できる。今後も他の設備への水平展開を計画している。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山久世工場	平成25年度実施予定 1. 成型サイクル短縮の水平展開(既存機種) 検討 ⇒効果は不明(実現度合いによる) 2. チラーユニットの高効率インバータタイプ方式への交換、入替え ⇒306t/年 2013年中に稼働予定 3. 品質向上による無駄な生産活動の削減 ⇒効果は不明(実現度合いによる)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

サイクルタイム短縮の効果は期待以上であり、来年度も継続する。また、老朽化した設備の入替えなどにおいては、省エネタイプを優先して導入する。また、品質向上にも全社的に取り組んでおり、効率的な生産体制構築に取り組む予定である。